

7 今月の星空

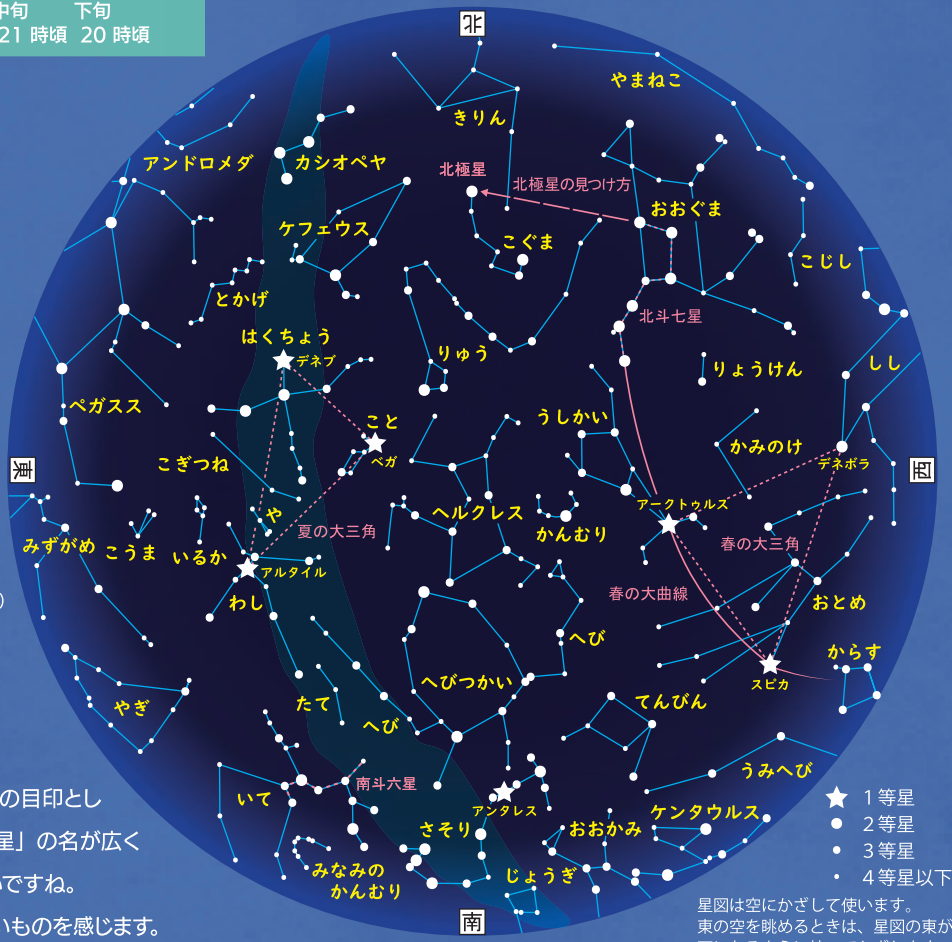
上旬 中旬 下旬
22 時頃 21 時頃 20 時頃

天文現象など

- 7/2 月と火星が並ぶ (午前2時~明け方・東の空)
- 7/3,4 月と木星が並ぶ (明け方・東の空)
- 7/6 新月 ☾
- 7/9 月とレグルスが並ぶ (夕方~21時)
- 7/14 上弦 ☽
月とスピカが並ぶ
- 7/17 月とアンタレスが並ぶ
- 7/21 満月 ●
- 7/22 水星が東方最大離角 (夕方・西の空)
- 7/24 月と土星が並ぶ (22時~25日明け方)
- 7/28 下弦 ☾
- 7/30 月とすばるが並ぶ (午前1時~明け方・東の空)
- 7/31 月・火星・木星・アルデバランが並ぶ (午前2時~明け方・東の空)

星空ワンポイント

7月の空で目を引く赤い一等星「アンタレス」。さそり座の目印として知られていますが、日本ではその色から、ずばり「赤星」の名が広く伝わっています。少しひねって「酒酔い星」の名は楽しいですね。星を人と同じように見立てる視線には、なにかあたたかいものを感じます。



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下

星図は空にかざして使います。東の空を眺めるときは、星図の東が下になるように持ってかざします。

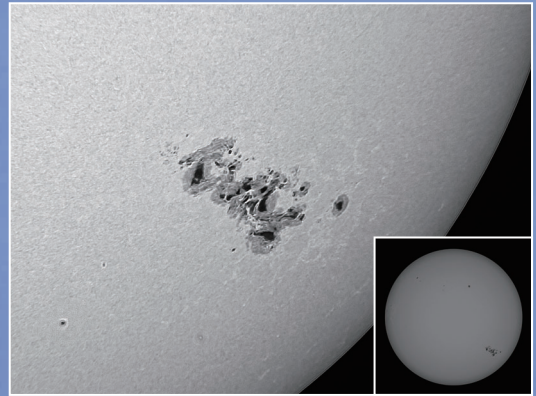
今月の一枚 活発な太陽と肉眼黒点群

今年の5月上旬、太陽には日食グラスを用いた肉眼の観察でも見つけられるほど大きな黒点群が出現していました。黒点は「周りよりも温度が2000度ほど低いところ」と説明されるので穏やかなイメージがあるかもしれませんが、実は激しい活動の目印となっています。実際に、黒点の多かった5月には最大規模とされている「Xクラス」のフレア（爆発現象）が連続で発生し、地球にもさまざまな影響がありました。電波通信に影響を及ぼす「磁気嵐」という現象が観測されたほか、普段はオーロラが見られない地域でもオーロラが出現し、日本各地から多くの観測報告が届いたことも話題になりました。

私たちの生活にも影響がある太陽の活動状況は、人工衛星によって常に見守られ、「宇宙天気予報」として公開されています。



宇宙天気予報
(<https://swc.nict.go.jp/>)



撮影：平野 岳史 撮影日：2024.5.11



画像提供：清瀬市郷土博物館

清瀬駅開業 100 周年記念関連イベント 清瀬駅 100 年の物語

今年も清瀬市郷土博物館とのコラボ講演会を開催!! 100周年を迎えた清瀬駅にまつわる貴重な歴史的資料と、電車の運転席から望む現代の街並みがドームに広がります。博物館と科学館両方の視点を交えたおはなしをお楽しみください。

開催 7月28日(日) 17:10-18:40
対象 小学3年生~大人 ※小学生は保護者と参加
申込 WEB先着 / 6月18日正午より受付 (定員 234人)

7月20日(土)より、全編生解説プラネタリウム『大正【星・電車】ロマン』も投影スタート!!

2024.7 ...休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10 おもいやり	11	12	13 観望会
14	15	16	17 大人向け	18	19 0歳プラネ	20 講演会
21 大人向け	22	23	24	25	26	27
28 講演会	29	30	31			

各日のイベント・投影の内容や参加方法については 当館 web サイトまたはロクトニュースにてご確認ください



イベントカレンダー